枝肉評価部門で最優秀賞を獲得した枝肉と、総合優勝した鹿児島県立市来農芸高等学校の皆さん

NEWS
1月15日

第4回「和牛甲子園」開催！

1月15日、全国の農業高校生が肥育技術を競う「和牛甲子園」が開催された。新型コロナウイルス拡大防止の観点からオンラインでの開催となったが、参加校数・出品頭数ともに過去最多を更新し、例年に劣らない盛り上がりを示した。

鹿児島県立市来農芸高等学校が「総合評価部門」2連覇の快挙を達成！

「コロナの影響でさまざまな共進会が中止になる中、オンラインで開催される事になった『和牛甲子園』は大きなモチベーションとなりました。私たちは、日々牛としっかり触れ合って体調を把握し、小さな変化にも気づいて万全のケアをする事を大切にしています。その姿勢が、今大会での評価につながったのだと思います。これからも鹿児島黒牛をもっと発展させ、全国の皆さまに美味しく食べてもらえるように頑張ります！」（鹿児島県立市来農芸高等学校の皆さん）

全国19県の33校が47頭の和牛を出品

将来の和牛肥育の担い手を応援し、技術の研鑽や交流を通じたネットワークの創出を目的に開催される「和牛甲子園」。第4回目の今大会は4校の初出場校を迎え、青森から鹿児島まで19県・33校が出場し、全47頭の和牛が出品された。

開会式では、JA全農の齊藤良樹常務理事が主催者を代表し、「新型コロナウイルス感染症が拡大する中、さまざまな大会やイベントが中止を余儀なくされており、我々も本大会を中止にすべきかどうか検討を重ねました。しかし全国の高校牛児や、牛児の育てた和牛が集う機会をなくすわけにはいかないとの一心で、オンラインを活用した大会の開催を決意しました。同じ志を持つ全国各地の仲間たちが切磋琢磨し合う事は、必ずや皆さんのこれからの成長につながると確信しています」と挨拶した。

前回の「総合部門」最優秀賞受賞校、鹿児島県立市来農芸高等学校による優勝旗返還に続き、福島県立会津農林高等学校の3名が、「このような状況下において、私たちに研究発表の場を設けてくださり、本当にありがとうございます。私たち高校牛児が生産した牛肉で、この大変な世の中に希望と美味しさを届けます。私たち高校牛児一同は、日頃の和牛肥育に関する取り組み、和牛にかける思いをこの大会を通して多くの人に知っていただけるよう、心を1つに頑張ります。そして、肥育技術と生産意欲を向上し、日本の畜産業を未来につなげるために、和牛とともにこの和牛甲子園に全力で臨む事を誓います」と、力強く選手宣誓をした。

①JA全農の齋藤良樹常務理事による主催者代表挨拶 ②⑤⑧第4回和牛甲子園大会中の各校の様子 ③④枝肉評価部門で優秀賞を獲得した枝肉と岐阜県立飛騨高山高等学校の皆さん ⑥⑦枝肉評価部門で優秀賞を獲得した枝肉と栃木県立鹿沼南高等学校の皆さん

事前に配信されたプレゼン動画を審査委員と各校の生徒たちが審査

「和牛甲子園」は、各校の和牛肥育に関する取り組みに内容を審査する「取組評価部門」（体験発表会）と、出品した枝肉の肉質を競い合う「枝肉評価部門」で構成され、それぞれを50点満点で採点。両部門の合計得点が競われる。例年は各校のメンバーが会場で自分たちの取り組み内容を発表するが、オンライン開催となった今回は、それぞれのプレゼンテーション動画が審査委員と全参加校に配信され、事前に審査が行われた。

取組評価部門最優秀賞に輝いたのは鹿児島県立市来農芸高等学校で、2年連続の受賞となった。「牛と共に夢叶える～安全な鹿児島黒牛の生産を目的とした健康な牛つくりの取り組み～」と題したプレゼンテーションでは、尿石症のコントロール法や、肉の旨味につながるオレイン酸を給餌によって増やす試みを発表。同部門の多田耕太郎審査委員長（東京農業大学農学部教授）は、「取り組み内容にチャレンジ性があり、資料の内容も分かりやすくまとめられている点が高く評価されました」と講評。

今大会より、参加校の生徒たちが特に優れていると感じた発表に投票する事で選出される「高校牛児特別賞」が創設され、こちらも鹿児島県立市来農

表1. 第4回和牛甲子園における審査基準

<table>
<tr><th colspan="5">枝肉評価の得点</th></tr>
<tr><td colspan="5">合計50点</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2"></td><td colspan="2">加点</td></tr>
<tr><td colspan="2">+0～5点</td></tr>
<tr><td rowspan="3">追加基準</td><td colspan="2">ロース芯面積</td><td>R01年度全国平均（去勢・雌別）より上</td><td>+2</td></tr>
<tr><td colspan="2">ばら厚さ</td><td>R01年度全国平均（去勢・雌別）より上</td><td>+1</td></tr>
<tr><td colspan="2">脂肪酸（オレイン酸）</td><td>55%以上</td><td>+2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">等級</td><td rowspan="2">BMS</td><td rowspan="2">基準点</td><td>加点</td><td>減点</td></tr>
<tr><td colspan="2">±5点</td></tr>
<tr><td rowspan="5">5等級</td><td>12</td><td>40</td><td rowspan="15">①歩留まり
②肉の色沢
③脂肪の色沢と質
④肉の締まり及びきめ
⑤肉付・体形
⑥その他
（周囲筋の状態等）</td><td rowspan="15">①歩留まり
②肉の色沢
③脂肪の色沢と質
④肉の締まり及びきめ
⑤肉付・体形
⑥その他
（周囲筋の状態等）</td></tr>
<tr><td>11</td><td>38</td></tr>
<tr><td>10</td><td>36</td></tr>
<tr><td>9</td><td>34</td></tr>
<tr><td>8</td><td>32</td></tr>
<tr><td rowspan="4">4等級</td><td>8</td><td>27</td></tr>
<tr><td>7</td><td>25</td></tr>
<tr><td>6</td><td>23</td></tr>
<tr><td>5</td><td>21</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3等級</td><td>5</td><td>17</td></tr>
<tr><td>4</td><td>15</td></tr>
<tr><td>3</td><td>13</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2等級</td><td>3</td><td>7</td></tr>
<tr><td>2</td><td>5</td></tr>
<tr><td>1</td><td>3</td></tr>
</table>

上記①～⑥の内容の良好な項目を加点する（全+5点）　上記①～⑥の内容の劣る項目を減点する（全−5点）

＋

取組評価の得点
合計50点
審査委員5名 （審査委員6名のうち、最低得点者を除く5名）×25点/2.5のポイント付与

※（25点/審査委員）×5名/2.5

＝

合計100点満点
総合評価 100点

表2. 令和2年度　第4回和牛甲子園―取組評価部門　成績表

褒賞	学校名
最優秀賞（1校）	鹿児島県立市来農芸高等学校
優秀賞（2校）	愛知県立渥美農業高等学校
	山口県立大津緑洋高等学校
優良賞（3校）	岩手県立水沢農業高等学校
	山形県立村山産業高等学校
	佐賀県立唐津南高等学校
審査委員特別賞（1校）	鹿児島県立鹿屋農業高等学校
高校牛児特別賞（1校）	鹿児島県立市来農芸高等学校

芸高等学校が受賞。他校の生徒からは、「課題を的確に分析し対処していた」「研究内容の専門性が高く聞き手を惹きつける発表だった」といった評価ポイントが挙げられた。

惜しくも入賞は逃したが、魅力ある発表をした高校に贈られる審査委員特別賞には、鹿児島県立鹿屋農業高等学校が選ばれた。

多田審査委員長は、「コロナの影響で登校できない期間もあった中、苦労しながら肥育牛を管理された事と思います。どの発表からも熱いエネルギーが感じられ、各校とも課題意識が非常に高いと思わせられました。詳細なデータを収集・分析している高校も多く、発表内容のレベルも年々向上している事を感じます」と総評し、この「和牛甲子園」を、他校から新しい情報を吸収したり刺激を受けたりするとともに、和牛生産に励む同年代の仲間が全国にいる事を再認識する機会にしてほしいと語りかけた。

出品牛の枝肉共励会も例年通り開催

同日、東京都中央卸売市場食肉市場で出品された枝肉の共励会が行われ、6点の入賞牛が選出された。最優秀賞の栄冠を手にしたのは、取組評価部門でも最優秀賞を受賞した鹿児島県立市来農芸高等学校。同部門の芳野陽一郎審査委員長（公益社団法人日本食肉格付協会専務理事）は、「ロース芯が113㎠もある肉量豊かな枝肉で、内面にも脂

表3. 令和2年度 第4回和牛甲子園 ― 枝肉評価部門（全国農業高等学校和牛枝肉共励会）成績表

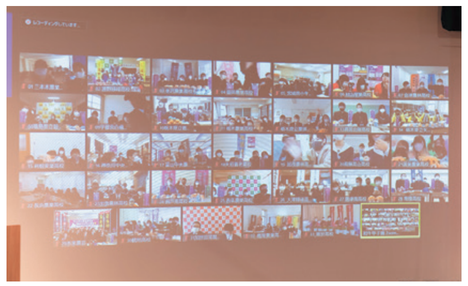
学校名（出品者氏名）	性	出荷月齢	血統 父	血統 母の父	血統 母の祖父	出荷体重（kg）	枝肉重量（kg）	歩留基準値	規格	ロース芯面積（cm²）	バラの厚さ（cm）	BMS No.	オレイン酸（%）	MUFA ※（%）	賞（肉質）
青森県立三本木農業高等学校	去勢	32	美津福	安茂勝	第1花国	844	556	73.6	A5	72	7.8	8	57.5	65.9	
岩手県立遠野緑峰高等学校	去勢	29	美国桜	勝忠平	安平	802	542	74.9	A4	65	9.0	7	51.8	58.5	
岩手県立水沢農業高等学校	去勢	30	菊福秀	百合白清2	安福久	942	628	75.3	A5	83	10.6	12	56.3	64.2	優良賞
岩手県立水沢農業高等学校	去勢	29	美国桜	華春福	安福久	844	602	83.1	A5	132	9.0	12	53.7	61.6	審査委員特別賞
✿ 岩手県立盛岡農業高等学校	去勢	27	美国桜	直太郎	安福久	773	512	72.8	A3	55	8.2	4	50.7	58.3	
✿ 岩手県立盛岡農業高等学校	去勢	27	美国桜	幸紀雄	平茂勝	712	460	74.0	A4	54	7.9	6	57.1	65.2	
宮城県小牛田農林高等学校	雌	31	洋糸波	勝洋	百合茂	658	427	74.0	A4	62	7.8	7	50.0	58.4	
✿ 山形県立村山産業高等学校	去勢	27	満開1	安秀165	平茂勝	844	521	72.5	A4	55	8.3	6	54.5	62.4	
福島県立会津農林高等学校	去勢	29	勝忠平	安福久	金幸	806	521	77.6	A5	76	9.7	12	50.0	56.1	
福島県立会津農林高等学校	雌	29	幸紀雄	安福久	平茂勝	741	480	73.9	A5	64	7.5	8	55.3	63.0	
✿ 福島県立磐城農業高等学校	雌	27	喜亀忠	金幸	茂重5の1	632	389	76.3	A3	65	7.1	4	56.0	61.3	
栃木県立宇都宮白楊高等学校	雌	31	芳之国	勝忠平	白清85の3	744	504	74.2	A5	83	7.4	9	58.3	64.7	
栃木県立宇都宮白楊高等学校	去勢	29	直太郎	安福久	平茂勝	848	551	74.3	A4	69	8.0	6	49.0	55.4	
栃木県立鹿沼南高等学校	去勢	31	百合白清2	安福久	平茂勝	860	611	76.4	A5	85	10.7	12	53.2	62.2	優秀賞
栃木県立鹿沼南高等学校	去勢	29	花国安福	安福勝	平茂勝	787	518	75.2	A5	71	9.0	8	52.8	60.3	
栃木県立栃木農業高等学校	雌	29	百合光	平茂勝	紋次郎	713	500	73.7	A5	62	9.2	10	52.8	60.8	
栃木県立那須拓陽高等学校	去勢	30	本富士	百合茂	北国7の8	891	613	75.1	A5	88	9.1	11	48.4	54.6	
栃木県立那須拓陽高等学校	去勢	30	諒太郎	安福久	平茂勝	775	478	73.4	A5	57	7.3	9	54.8	62.3	
栃木県立真岡北陵高等学校	去勢	30	喜亀忠	安福久	平茂勝	804	539	77.5	A4	84	8.9	7	48.9	54.4	
栃木県立矢板高等学校	去勢	29	諒太郎	安福久	勝忠平	845	515	74.6	A5	72	7.5	11	58.4	66.1	
栃木県立矢板高等学校	去勢	31	美津照重	安茂勝	美津福	858	565	75.8	A5	83	9.0	12	58.8	69.1	
群馬県立利根実業高等学校	去勢	29	花国安福	安茂勝	正福（岩手）	714	457	72.0	A3	47	6.6	5	51.2	57.6	
群馬県立利根実業高等学校	去勢	29	美津百合	芳之国	藤平茂（事業団）	716	493	73.0	A5	56	8.3	8	60.6	68.5	
神奈川県立中央農業高等学校	去勢	28	美津照重	平茂勝	紋次郎	642	403	74.5	A4	63	7.2	7	44.1	50.5	
富山県立中央農業高等学校	去勢	32	美津照重	松福美	北国7の8	705	439	74.6	A4	59	6.9	7	56.4	63.1	
岐阜県立大垣養老高等学校	去勢	30	花清光	美国桜	菊谷	819	556	74.8	A5	71	8.7	12	52.4	59.6	
岐阜県立加茂農林高等学校	雌	29	神白幸	花清国	菊花国	696	447	74.5	A5	69	6.4	12	56.5	65.9	
岐阜県立飛騨高山高等学校	雌	33	花清光	飛騨白真弓	護熙王	659	437	75.6	A5	68	8.5	12	51.3	60.7	優秀賞
愛知県立渥美農業高等学校	雌	29	諒太郎	安福久	忠富士	781	536	75.5	A5	74	9.3	9	50.8	57.7	
愛知県立渥美農業高等学校	去勢	29	安福久	美国桜	平茂勝	795	555	77.3	A5	88	9.2	11	47.3	54.4	
滋賀県立長浜農業高等学校	去勢	28	茂晴花	安茂勝	貴安福	730	465	76.2	A4	73	6.7	6	55.1	63.1	
滋賀県立長浜農業高等学校	去勢	27	福増	安茂勝	貴安福	808	530	76.4	A4	78	7.1	7	51.0	57.1	
島根県立出雲農林高等学校	去勢	32	隆娘	茂花国	平茂勝	800	557	76.6	A5	82	8.6	12	49.8	57.2	優良賞
島根県立出雲農林高等学校	去勢	28	久茂福	勝安竜	平茂勝	769	512	73.8	A5	63	8.1	10	50.3	58.4	
広島県立西条農業高等学校	去勢	22	愛之国	安福久	勝忠平	735	519	77.5	A5	80	10.1	11	44.0	51.7	
✿ 山口県立大津緑洋高等学校	去勢	27	勝海	勝忠平	北国7の8	967	619	72.3	A4	63	9.4	6	51.1	58.3	
佐賀県立唐津南高等学校	去勢	36	豊茂国	百合茂	安平照	815	553	74.7	A5	71	8.9	10	52.4	60.5	
熊本県立南稜高等学校	雌	29	福増	勝忠平	安福久	806	545	75.2	A5	75	9.2	11	55.0	62.7	
鹿児島県立市来農芸高等学校	去勢	32	華春福	百合茂	安糸福	842	590	74.4	A5	77	8.1	9	50.6	56.9	
鹿児島県立市来農芸高等学校	去勢	29	華春福	美国桜	岡茂福	933	640	80.9	A5	113	9.7	12	47.4	55.4	最優秀賞
鹿児島県立鶴翔高等学校	雌	30	若百合	諒太郎	美津福	825	580	74.4	A5	90	8.4	11	56.0	63.6	
鹿児島県立鶴翔高等学校	雌	29	喜亀忠	百合茂	安平	697	441	77.8	A4	83	8.3	6	52.0	57.4	
鹿児島県立加世田常潤高等学校	去勢	27	華春福	百合茂	安福久	815	521	71.4	B3	49	7.9	4	48.0	55.6	
鹿児島県立鹿屋農業高等学校	去勢	30	華春福	安福久	勝忠平	874	609	81.4	A5	115	10.4	12	49.9	57.3	優良賞
鹿児島県立鹿屋農業高等学校	去勢	29	華春福	安福久	21世紀	845	582	76.8	A5	90	9.1	11	52.5	60.0	
鹿児島県立曽於高等学校	去勢	28	秀幸福	安福久	勝忠平	781	532	80.5	A5	107	9.5	11	48.4	56.2	
鹿児島県立曽於高等学校	去勢	27	幸紀雄	華春福	忠茂勝	827	552	75.6	A5	75	9.0	11	54.9	61.8	

「岡山県立瀬戸南高等学校」は、体験発表会のみ出場。✿は初出場校

※一価不飽和脂肪酸

肪がよく乗っており、しっかりとした飼養管理がなされている事が感じられました。美しい光沢は健康状態の良さを表しており、まさに最優秀賞にふさわしい枝肉だと思います」と高く評価した。

取組評価部門44・8点、枝肉評価部門48点の計92・8点を獲得した鹿児島県立市来農芸高等学校は、前年に続いて総合評価部門最優秀賞を受賞。東京の会場とオンラインでつながった同校の生徒たちは、「両部門で最優秀賞を獲得しての完全制覇を目指していました。その大きな目標を達成できて、とても嬉しいです」と喜びを口にした。

表彰式に続き、JA全農畜産総合対策部の高橋龍彦次長が、「コロナの影響で私たちを取り巻く環境は大きく変化していますが、変化は悪い事ばかりをもたらすのではなく、新しい事を始めるきっかけともなります。東京の会場に集まらずとも、全国33校の皆さんがオンラインで結ばれ、全国の若い牛飼いの皆さんのネットワークが生まれた事はその1つだと思います」と述べた。

その言葉通り、閉会後に設けられた自由交流の機会では、各校の生徒同士がモニターを通じて活発に情報交換をする姿が見られ、たとえ直接会う事が叶わなくても、有意義なイベントが開催できる事を物語っていた。